

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 光陽会 放課後等デイサービス メロディ		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 17日		R7年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名・32世帯	(回答者数) 25名・25世帯
○従業者評価実施期間	R7年 2月 17日		R7年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童の実態に応じた活動(主に小集団での運動・創作を中心とした活動)を準備し取り入れている。その際、支援員間の共通理解もはかられ、勤務シフトによる支援員の変更があっても、質と量を落とすことなくサービスを提供できている。	・児童発達支援管理責任者の助言や外部機関での取り組みも参考に、児童の実態や設定された目的達成のために必要な活動を準備するよう留意・実践している。	・令和7年4月より、事業変更(ウイッシュ休止・メロディ定員10名から定員20名に変更)が行われるが、それ以降も同様のサービスが提供できるよう準備中。また、児童の実態把握等の協議を週または月ごとに計画的に設定し、最新の情報や状態が共有しやすいよう取り組む予定である。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・送迎ルートや時間の多様化に不安を感じている。 ※ 同じ時間帯に5カ所の送迎が必要。 ※ 配置基準+加配人員の合計が3名であっても送迎と受け入れ職員が足りない日も予想される。	・西都市内の6小中学校、近隣の市町に1小学校2支援学校が送迎対象となっており、対して職員配置が最大で一日3名であるため物理的に困難な状況にある。	・法人全体での協力を仰ぎつつ、自立支援協議会を通して行政機関への問題提起等行っていきたい。 ・令和7年4月1日より、定員10名から20名へ事業変更となる為、当面は経過を見守りたい。
2			
3			